

試験：2026年度 【冬期】試験

課程：博士課程【前期2年の課程】

選抜：【一般選抜】

試験科目：専門科目【ドイツ語学ドイツ文学】

## 出題意図

### I.

1. ハンス・エッガースの「ドイツ語史」からとられた論説文を読む問題である。ゲーテについての説明文であり、歴史的な記述を含むため、過去形に慣れておく必要がある。副文が多く、階層的な構造が多用されているが、文体がこなれているため、複雑さの割には読みやすい文になっている。ゲーテについて知っておくべき知識があれば理解はかなり容易であり、文学史の一般的知識を求める問題でもある。

2. ヘルマン・ヘッセの「ナルチスとゴルトムント」からとられた小説の文章を読解する問題である。語りの地の文では3人称で過去形が多く使われているが、全体としては会話文が多く、1人称、2人称の動詞の形態や、話法の助動詞、現在完了形などに習熟していることが読む上で必要となる。ただし、全体の読解の難度は高くない。

### II.

自分の今後の研究内容をドイツ語で書く問題である。自分の研究の目的や方法についてドイツ語で表現できることを求める問題である。